

生徒：学習状況の確認
教師：学びの見取り、次時への見通し

[illegible]

リーディングDXスクール事業【実践事例】

小川村立小川中学校（長野県）【指定校】

【取組内容】 情報活用能力の育成 ～情報の時間の設定～

【目的】

生徒が端末や情報を扱ううえで身に付けておきたいスキル等を学び、
教科学習、学級活動、生徒会等で活用できるようにする。

【概要】

- 各学年で情報の授業担当者を決める総合的な学習の時間の中に5時間程度、情報の時間を設定をした。
- 各学年、目指す情報活用能力(スキル)を設定し学習を進めた。



情報の授業ってなにをするの？

* Googleアプリの使い方

* 情報モラルやセキュリティについて

* 情報の扱い方（分析・整理・まとめ）

* 相手を意識した発表の方法・・・など

**端末や情報を扱う時に知っておきたい知識を
実際に端末を扱いながら身に付けていこう！**

R6年度 小川中学校 【育てたい情報活用能力】（学習内容一覧表）

学習内容		1学年	2学年	3学年
[A] 基本的な操作	(1) キーボード入力やインターネット等での情報閲覧			
	(2) 図表の作成、取り込み方法など			
	(3) 図表や引用文献の表示の仕方、情報の扱い方など			
	(4) 目的に応じたアプリケーションの選択と操作			
	(5) クラウドを活用した協働作業			
[B] 問題解決・ 探究における 情報活用	問題解決や課題を意識した、情報収集や整理・分析し、解決に向けた見通し（計画）を持つことができる (1)			
	問題解決のために集めた情報を整理・分析し、自分のことばでまとめる (2)	☆		
	他者との関わりや情報共有などの学び合いによって、自己の考えを深めたり、新たな視点を取り入れたりしながら、自己を成長させようとする (3)		☆	
	表現方法を相手や目的に合わせて選択し自他の情報を組み合わせる適切に表現する (4)			☆
	自らの情報活用を評価し、改善しようとする (5)			
[C] 情報モラル・ セキュリティ	(1) 情報社会での情報の役割（大切さ・危険性）			
	(2) 自他の情報の大切さ・守るための方法			
	相互通信を伴う情報手段に関する知識を持ち、責任を持った活用を身につける (3)			
	情報を多面的・多角的に捉えたり、情報を比較して情報の真偽を捉えたりする力 (4)			
	情報や情報技術をよりよい生活や社会づくりに活かそうとする。 (5)			

リーディングDXスクール事業【実践事例】

小川村立小川中学校（長野県）【指定校】

【取組内容】校務DX（標準仕様とクラウドを活用し教員の働き方改革につなげる取組）

【校内チャットの活用】

- ・日報 ・生徒の情報共有
- ・業務の確認・連絡
- ・各種通信の共有 など

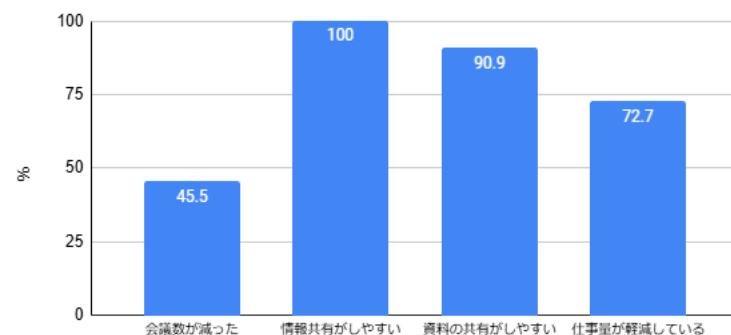


【共有ドライブの活用】

学年・生徒会・係など、
ドライブの活用によって情報共有や資料作成の時短



チャットの活用で便利になったと感じること

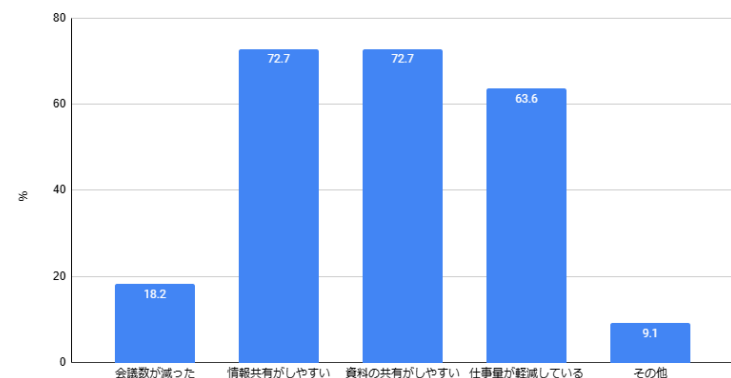


【ドライブにファイルを保存(共有)し、共同編集】

指導案や感想用紙などを授業者が添付。
→ 集約・印刷など、係の負担が軽減

公開授業&合同授業予定（6月～7月）							【お願い】	
No.	日にち	時間	教科	備考	指導案など	感想記入用紙	学習カード	
1	6/6 (木)	2校時	音楽	昨年度も合同授業をしていて面識はある	6/6 授業内容	感想記入用紙		
2		3校時	国語					
3			情報		1学年 情報の時間			
4	6/7 (金)	5校時	情報	授業後研修会あり	2年生「小川村は消えるか」		2学年 取材計画用紙	
5			情報		3学年 情報の時間	情報の時間		
6	6/14 (金)	5校時	体育	協力校 ICT活用	6/14 小中合同			
7	6/20 (木)	6校時	英語					
8		5校時	数学	6校時は授業参観				
9	7/17 (水)	5校時	社会		1年社会「中国の食事」			
10			理科	授業後研修会あり	2年理科			
			家庭科		消費生活	感想記入用紙		

Googleドライブを活用することで便利だと感じていること



職員へのアンケート結果より

チャット・ドライブの活用により、
情報や資料の共有がしやすく、
印刷・配布などにかかる時間の削減に有効。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

小川村立小川中学校（長野県）【指定校】

【取組内容】 協力校とのオンライン合同授業

【目的】

山間地小規模校である本校の生徒に、多様な意見を聞く機会・多様な見方や考え方に触れる機会をつくる

【実施内容】

- *近隣中学校とのオンライン合同授業を行う。
- *生徒が意見交換をしたり、できるだけ多くの意見を参考にできるようにしたりするために、ファイルを共有し、互いの考えを共有し合える学習環境を整える。
- *生徒が意見交換をしながら主体的に学べる場面を設定する。

【生徒たちの様子】

- ・積極的に意見を伝えようとする姿が見られた。
- ・さまざまな考えに触れることで、考えの妥当性に気付き、自信につながっているようだ。
- ・教師の出方が難しいが、普段の学習集団の中では消極的になってしまう生徒も意欲的に取り組む姿が見られた。

【生徒の感想】

- ・普段聞くことができない、いろんな意見が聞けて良かった。

